



※2018 ながの発達障害啓発週間「結（ゆい）」プロジェクトに寄せられた応援メッセージ／撮影協力：ひとつぶの麦（下諏訪町）

2018 年度児童虐待防止研修会

発達障害の子どもと保護者への支援

～小児科の現場から～

講師 長野市民病院小児科部長 青沼架佐賜 氏

少子化が進む中で、子どもを取り巻く環境では様々な課題がクローズアップされています。特に発達障がいを抱えている子どもたちは、学習に支障があったり、集団生活の場で問題行動や不適応を起こして学校生活になじめない子どもたちは孤立傾向にあり、また、保護者自身も子育てに悩み苦しんでいるのが実情です。今回の研修会では、乳幼児から中学生まで幅広く子どもたちの発達障がいに関わり、保護者への支援に取り組んできた小児科医から、現場の様子を伺い、支援のあり方を学びます。

講師紹介

青沼架佐賜 氏・・・弘前大学医学部卒業。信州大学医学部付属病院小児科及び精神科等に勤務。その後長野県厚生連篠ノ井病院小児科に勤務、平成9年から長野市民病院小児科に勤務し現在に至る。専門分野は発達、神経、循環器、心身症。なお、当会の設立時から運営委員としてご協力いただいています。

日時

平成30年6月24日
午後2時30分～午後5時

会場

長野県農協ビル 12-A
(長野市北石堂町1177番地3)

- 参加対象者 児童虐待に関わる保健、医療、福祉、教育、司法の専門職にある者及び児童虐待問題に関心のある一般市民（定員50名）
- 参加費 1,000円（※当会会員無料）
- お申し込み お名前、所属及び職種を明記の上、6月8日（金）までに事務局あてファクシミリ又はメールでお申し込みください。
- その他 この研修会は平成30年度保育士キャリアアップ研修の長野県指定となっています。

（お問い合わせ）

ながの子どもを虐待から守る会事務局

TEL 090-7283-5761（携帯）

FAX 026-268-0009

E-mail n-mamoru@valley.ne.jp